

行きつけの ローカル をつくる。

伊吹山の麓にある里山、
米原市・大野木地区を舞台にした
全3回のフィールドワーク。

定員 6 名

交通費・宿泊費を半額補助
※食費等は自己負担

10.24 Sat. ▶ 10.25 Sun. | 11.13 Fri. ▶ 11.15 Sun. | 12.18 Fri. ▶ 12.20 Sun.

名古屋から新幹線で約30分。京都から新快速で約50分。

「通う」からこそ、 できることがある。

住む場所を変えずに、ローカル（農山村）に通う。それだけで、週末がもっと楽しくなります。

大野木（おおのぎ）地区は、日本百名山・伊吹山の麓にある小さな集落です。このプログラムは、10月から12月まで3回に分けて、冬支度が始まる里山へ通います。柿をもぎ、竹を切り、漬物を仕込む。大野木地区の皆さんと同じ食卓を囲み、農村の営みに加わります。大野木地区の外にも出かけます。**米原（まいばら）**は古くから人が行き交ってきた土地で、いまでも各地から人が移り住んでいます。古民家を直してゲストハウスをつくった人、山あいのレストランを始めた人、納屋をオフィスにつくり変えた人。あなたの関心に合わせて、誰に会いに行くかを一緒に考えます。ただ体験をこなすのではなく、この土地で自分に何ができるのかを探る。プログラムが終わったときには、ローカルを訪れる理由が、自分のなかにできているはずです。

あなたの関心から、始まります。

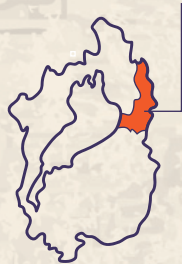
関心のあるテーマも、ローカルとの関わり方も、人それぞれ違うはずです。だから、参加が決まったらオンラインでじっくりお話を聞かせてください。あなたが会いたい人、興味があることに合わせて、訪ねる先を決めます。各回の最終日は、現地での体験を振り返る時間にします。暮らしや仕事の疑問があれば、現地のコーディネーターや先輩移住者に相談できます。

こんな人に、来てほしい。

- 観光や一度きりの訪問では、物足りなさを感じている人
- ローカルとの関わり方を、これから自分でつくっていききたい人
- やってみたいことがある、もしくは自分の経験やスキルを活かしたいけど、始める場所がない人
- 滋賀や米原に縁があり、もっと深く関わってみたい人

大野木地区ってどんな場所？

米原市大野木地区



大野木地区は、人口400人ほどの小さな農村です。集落のすぐそばを新幹線が走り、晴れた日には伊吹山が見えます。この集落の特徴は、地域住民が自ら積極的に地域活動に取り組んでいること。気軽に集まって農作業や食事ができる「たまり場」の運営、みんなで使える農園、お年寄りの買い物サポート。地区の課題を、自分たちで試行錯誤しながら解決してきました。長年この活動を続けてきた「大野木長寿村まちづくり会」の皆さんと出会い、その活動に加わります。

スケジュール

#1 10.24(土) ▶ 10.25(日)

オリエンテーション / たまり場でランチ（芋煮会） / 柿取り・柿むき
市民農園と冒険遊び場の見学 / 大野木地区での交流会 / 椎茸の原木出し

#2 11.13(金) ▶ 11.15(日)

米原に暮らす人を訪ねる / 移住者との交流会 / 買い物支援・楽々教室
竹切り / 干し柿づくり / たまり場でランチ（豚汁）

#3 12.18(金) ▶ 12.20(日)

米原に暮らす人を訪ねる / 買い物支援・楽々教室 / いぶりがっこの仕込み
たまり場でランチ（大根炊き） / 3ヶ月で見つけたことを話す発表会



応募前に聞いてみたいことがあれば、
DMからお気軽にどうぞ！

詳しくはInstagramをご覧ください。
https://www.instagram.com/shiga_furusato/

[定員]

6名 | 全日程に参加できる方
※応募多数の場合は選考となります。

[参加費]

交通費・宿泊費を半額補助
※食費等は自己負担

[応募締切]

2026.10.9(金) 正午まで

[応募方法]

下記URLまたはQRコードから
ご応募ください。

<https://tinyurl.com/4t5u636j>



[主催]

滋賀県農政水産部農村振興課（担当：垣見）
〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1番1号
TEL: 077-528-3961

[運営事務局]

株式会社雨風太陽 関係人口創出部（担当：原・星）
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-3
MIDORI.sō NAGATACHO 4F
TEL: 03-5843-1859